



2026年5月27日
西日本旅客鉄道株式会社
佐川急便株式会社

JR 西日本と佐川急便、「顧客体験価値の共創」に関する連携協定を締結

～モビリティとロジスティクスの共創による西日本エリアの交流人口拡大とサステナブルなエコシステムの実現～

- 西日本旅客鉄道株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:倉坂昇治、以下「JR 西日本」)と佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:笹森公彰、以下「佐川急便」)は、「顧客体験価値の共創」に関する連携協定を、2026年5月27日(水)に締結しました。
- 両社は本協定の取組みを、「モビリティとロジスティクスの共創エコシステム」と位置づけ、各々の強みを生かした取組みを進めることで、以下2つの価値提供に挑戦します。
 - ① モビリティとロジスティクスサービスのシームレスな連携による「顧客体験価値の向上」
 - ② 観光に付随する手荷物の課題解決によるインバウンドを中心とした「交流人口の拡大」

モビリティとロジスティクスの共創エコシステム



顧客体験価値の向上

モビリティとロジスティクスの
シームレスな連携

交流人口の拡大

観光に付随する
手荷物の課題解決

1. 連携協定締結の目的

本協定に基づき展開する取組みを「モビリティとロジスティクスの共創エコシステム」と位置づけ、「顧客体験価値の向上」「交流人口の拡大」の2つの”価値提供”に挑戦します。各々が有する強みやアセットを組み合わせることによる、西日本エリアの地域が抱える社会課題の解決を目的としています。

また、日本の人口が減少の一途を辿るなか、インバウンド旅客の地方誘客が重要です。両社の共創により、インバウンド旅客が地方を訪れやすくする運送サービスを戦略的に提供していくことで、地方誘客の促進と持続可能な地域経済の活性化の両立を目指します。

なお、これらの取組みを通じて、JR 西日本グループが中期経営計画で掲げた「移動におけるサステナブルなエコシステム」の実現と、SG ホールディングスグループが中期経営計画で掲げた「リアルコマース※」の展開による重点戦略の推進を図ります。

※リアルコマース:コンシューマー(個人のお客さま)が立ち寄る場所に提供する配送サービス、2025年7月より「SAGAWA 手ぶらサービス」の名称で運用



参考:JR 西日本グループ中期経営計画 2030
-次なる成長に向けた共創と挑戦-



参考:SGH グループ中期経営計画
「SGH Story 2027」

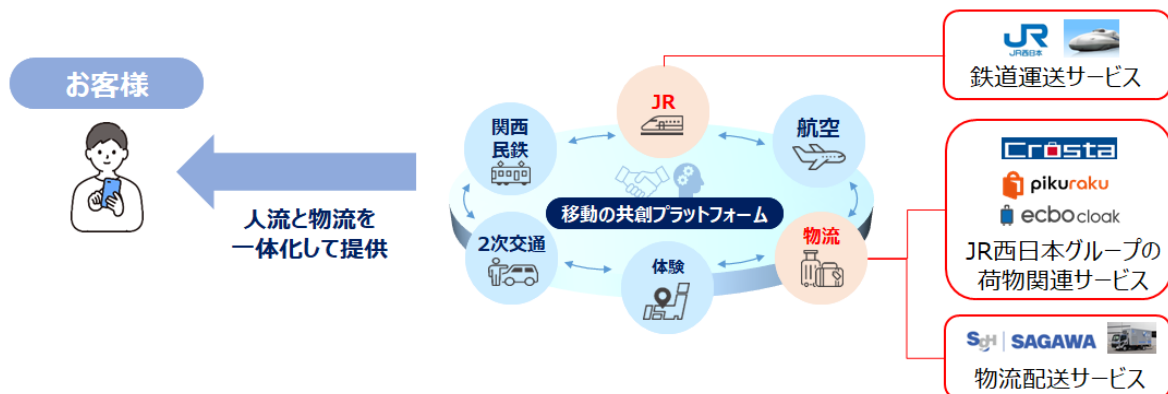
2. JR 西日本と佐川急便の取り組みにより提供したい価値

(1)モビリティとロジスティクスサービスのシームレスな提供による「顧客体験価値の向上」

～2030 年代を目途に共創プラットフォームを通じたシームレスな予約を実現～

JR 西日本の鉄道予約システムと、佐川急便の物流配送システムを連携することで、モビリティとロジスティクスのシームレスな提供を目指します。具体的には、2030 年代を目途に、『JR 西日本グループ 中期経営計画 2030 -次なる成長に向けた共創と挑戦- 』で掲げた「移動の共創プラットフォーム」を通じて、両社のシステムを連携し、お客様に対して、移動に関連した多様なサービスと共に、両社のモビリティ・ロジスティクスサービスを提供することを目指していきます。

また、2028 年を目途に、佐川急便の物流オペレーションシステムとの連携を通じて、JR 西日本グループが提供する様々な荷物に関するサービスの統合による、効率化と利便性の向上を目指します。

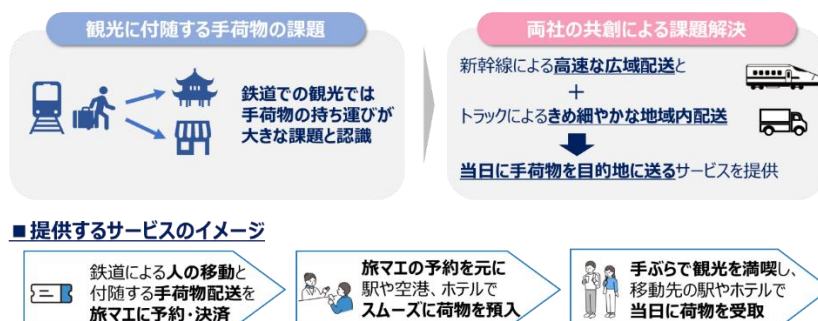


(2)観光に付随する手荷物の課題解決によるインバウンドを中心とした「交流人口の拡大」

近年、インバウンド旅客の間で西日本エリアの人気は高い一方、鉄道での観光では手荷物の持ち運びが大きな課題となっています。オーバーツーリズムが社会問題となる中で、観光地や列車内における手荷物のマナーや、手荷物による観光地の選択の制約への対処が急務です。

そこで、両社の強みとアセット、システムを掛け合わせることで、新幹線による高速な広域配送と、物流トラックによるきめ細やかな地域内配送を組み合わせた手荷物配送サービスの提供を目指します。具体的には、旅行前(旅マエ)で人の移動と荷物配送をセットで予約・決済でき、駅や空港、ホテルで預けた荷物を、目的地の駅やホテルで当日に受け取ることができるサービスの提供を目指していきます。

その第一歩として、2026 年 6 月より、京都・大阪⇄広島・博多間で、手荷物即日配送サービスの実証実験を JR 西日本とジェイアール西日本マルニックス、佐川急便の 3 社で実施いたします。



以上

	【問い合わせ先】	
西日本旅客鉄道株式会社	コーポレートコミュニケーション部	06-6375-8889
佐川急便株式会社	広報部広報企画課	03-3699-3614

JR 西日本と佐川急便、「手荷物当日配送サービス」を共同開始

～モビリティとロジスティクスの連携による手荷物配送サービスの新たな可能性に挑戦～

西日本旅客鉄道株式会社(以下、「JR 西日本」と)と佐川急便株式会社(以下、「佐川急便」)は、両社の鉄道ネットワークと物流ネットワークを活用し、訪日外国人旅行者等を対象とした新たな手荷物配送サービスの実証実験を開始します。

本取り組みは、京都・大阪～広島・博多間をモデルケースとし、「新幹線による高速な広域配送」と「トラックによるきめ細やかな地域内配送」によって、西日本の都市間で手荷物を当日配送することで、お客様の利便性の向上を通じ、手荷物に関する課題の解決を目指すものです。

また、本実証実験では、海外 OTA と連携し、JR 西日本の鉄道パスと同様の販路で予約・決済を実現しつつ、佐川急便の伝票システムを活用した旅行前(旅マエ)での配送手配を行うことで、訪日外国人旅行者等が旅マエで安心して予約可能な手荷物サービスの提供も目指していきます。

これらの取り組みを通じて、モビリティ・ロジスティクスの融合による「移動体験価値」の最大化を図るとともに、JR 西日本のレールパスとも連動したプロモーションを通じて、地方誘客の促進と持続可能な地域経済の活性化に貢献してまいります。

<実証実験の主な内容>

1. 商品概要

京都・大阪～広島・博多間において、駅・ホテル等に手荷物を即日配送するサービスを、2026 年 6 月 22 日(月)(調整中)から販売します。なお、JR 西日本のレールパスとのバンドル商品についても、合わせて設定します。

- (1)商品名 Same-day Delivery WEST
 (2)内容 京都・大阪～広島・博多間の手荷物の即日配送サービス(当日 21:00 までにお渡し)
 (3)実施区間
 ①京都駅・大阪駅・新大阪駅 ⇒ 広島駅・広島市内ホテル
 ②京都駅・大阪駅・新大阪駅 ⇒ 博多駅・福岡市内ホテル
 ③広島駅 ⇒ 新大阪駅・大阪市内ホテル・京都市内ホテル
 ④博多駅 ⇒ 新大阪駅・大阪市内ホテル・京都市内ホテル
 (4)購入可能期間 当日の荷物受付時刻まで
 (5)発売方法 海外 OTA(Klook・KKday)等にて発売



2. サービスの提供者

- ・運送サービス提供主体：ジェイアール西日本マルニックス
- ・新幹線輸送の提供：JR 西日本
- ・トラック輸送の提供：佐川急便

